

新たな総合計画の策定に向けたまちづくり提言（要旨）

No	性別・年代	提言要旨
1	男性・10代	商店街のシャッターをギャラリーのように使用したり、まちなかに吹奏楽部や市民音楽団体の音楽が流れる市民の憩いの場をつくるなど、世代や出身地、言語の垣根を越える芸術の力を活かしたコミュニティの場づくりに取り組んではどうか。
2	男性・10代	小学校と中学校の給食費の無償化など、岡山市を子育て支援都市にすべき。
3	男性・10代	岡山駅周辺は駐車場や小規模な建物などの低未利用地が多いため、再開発を進めるべきではないか。
4	女性・10代	緑と共存した都市計画が必要で、中心部に大型公園施設を建設すべき。また、中心部の車の量を減らし、自転車道や駐輪場を整備することで回遊性を高めるべき。
5	男性・30代	表町商店街をはじめとして中心市街地の大規模再開発をしていくべき。また、四国からも集客が見込め、雇用の創出も期待できる人気大型店の誘致を進めていくべき。路面電車は地下乗り入れ案を採るべき。
6	男性・40代	岡山―津山、岡山―高松といったルートを短時間で結ぶリニア新幹線の実験線の誘致を進めてみてはどうか。
7	女性・50代	岡山市は公立図書館が充実していることを踏まえ、新たな総合計画には、「学校図書館をさらに充実していくこと」「公共図書館を市が直接運営すること」を盛り込むべき。また、10年連続来館者数全国1位の県立図書館は誇るべきものであり、県と協働して全国に発信することで「品格の高い文化都市岡山」を目指すべき。
8	女性・70代	単身高齢者に対して、地域の住民同士での見守りもあるが、住民には知られたくないことや、知らない人だから話せる悩みもある。利用料はかかってもよいので、毎日安否確認の電話をするような見守りサービスの創設を望む。
9	女性・80代	岡南小学校、岡南公民館、銀行の岡南支店などは、同じ「岡南」の名称だが、それぞれ異なった地域に存在する。誰にでもわかりやすくできないか。